P10 町政を問う 「一般質問)

常任委員会報告

P8

議案審議

第2回町民と議員との

P2







練習したダンスや劇を精一杯披露し、立派 に成長した姿を見せて くれました。





QRコードを読み込 むと議会の情報を見 ることができます。

町民と意見の意見交換会



町民に開かれた議会、町民参加を推進する議会を目指し、11月20日(水)から22日(金)までの3日間、午後6時より、3会場において「町民と議員との意見交換会」を開催しました。令和6年第3回定例会で認定した令和5年度決算の審議内容、常任委員会の活動報告のほか、5月に実施した意見交換会で町民の皆様から寄せられたご意見、ご要望に対する町執行部からの回答について報告を行いました。

議会や町政に対し、様々な意見をいただくことができましたので、主な意見を紹介します。

11月20日(水)折木地区集会所(参加者6人)

●広野中学校の建て替えについて

今後想定される広野中学校の建て替えについて、 将来の児童・生徒数を見据えて小規模化するなど 財政負担を考慮するべき。

●防災の駅の必要性について

東日本大震災、能登半島地震など震災に対する 防護の部分で、防災の駅の必要性はあり、整備を 推進してほしい。

また、ヘリポートについては安心・安全を考慮して、文教施設や公園付近ではなく、防災の駅に併設してほしい。

●花壇の管理について

道路沿いの花壇について、花が最後まで咲くよう、定期的な除草など責任を持って管理を行ってほしい。



折木地区防災エリア整備予定地

11月21日 (木) ひろの未来館 (参加者5人)

●通学路の防犯灯設置について

県立ふたば未来学園中高生の通学路について、防犯灯の設置やLED化により、以前よりは明るくなってきていますが、生徒及び保護者が安心できる通学路になるよう、更なる防犯灯の設置をしてほしい。

●築地ヶ丘公園の有効活用について

遊具やスケートボードエリアの設置など、人が 集まる公園にしてほしい。

●東京電力の賠償について

東京電力の賠償について、避難指示区域と緊急 時避難準備区域とで補償額が絶壁になっており、 放射線量や距離に応じた段階的な補償額にするよ う、緊急時避難準備区域の自治体で東京電力に要 望をしてほしい。



築地ヶ丘公園

11月22日(金)下北迫地区集会所(参加者4人)

●移住定住施策について

移住定住施策について、移住から定住に至らなかった方の理由を分析して、見直しを行うべき。

●防災の駅の利活用について

防災の駅について、防災・再エネ・エコばかりではなく、公園のような、やわらかい、目を引くような利活用を考えても良いと思います。

●役場職員の来客対応について

名乗っても名乗り返さないなど応対が悪い職員 がおり、もう少し徹底をするべき。



役場窓口

意見報告書の提出

令和7年1月8日(水)、議長から町長へ意見を取りまとめた報告書を提出し、必要な取り扱いを求めました。

町から回答が届きましたら、議会だより等で報 告いたします。



意見の報告書を提出する議長



令和6年第4回定例会を12月12日から13日までの会期で開き、町から提出された10の議案等を審議しました。

一般会計補正予算については、西内玄太議員より広野町防災の駅基本計画策定事業に係る防災対策費及び債務負担行為(令和7年度)を削除修正する動議が提出され、審議の結果、修正案は3対4で否決、原案は4対3で可決となりました。

令和6年度12月補正

	会計名	補正額	補正後の予算額	主な内容(一般会計)
	一般会計	507万円	60億 236万円	●広野町防災の駅基本計画策定業務委託料 (新規)
特	国民健康保険	62万円	8億4484万円	420万円
別	土地開発事業		5507万円	債務負担行為(令和7年度) 1400万円
会	介 護 保 険	186万円	7億1779万円	●防犯灯工事費 (増額)
計	後期高齢者医療	4万円	6163万円	526万円 ●森林病害虫等防除事業委託料 (<mark>増額</mark>)
	下水道事業会計	30万円	3億6903万円	531万円
	合 計	789万円	80億5072万円	●各種予防接種委託料(<mark>増額)</mark> 466万円

広野町防災の駅基本計画策定事業

広野町防災の駅については、議会が「道の駅に関する調査特別委員会報告」において早急に道の 駅跡地利用の方針を求めていたこともあり、令和6年1月の全員協議会において、広野町役場・折 木地区・二ツ沼総合公園の3つの防災エリアの連携による「広野町防災の駅整備構想」が示されま した。

その後、令和6年10月1日、30日の全員協議会において、構想を基に「広野町防災の駅基本計画」を策定するための業務内容について説明を受け、議員からは必要性を疑問視する意見や事業費を懸念する意見が出されましたが、執行部からは課題や条件を整理し、場所、機能、概算事業費、管理運営形態等、施設整備の必要性を踏まえて検討し基本計画案を示したいとの説明があり、本議会において本基本計画策定に係る事業費を含む一般会計補正予算が計上され、審議が行われました。

- 広野町防災の駅整備構想

折木地区防災エリア

- ●防災拠点
 - 貯水槽
 - トイレ
 - ・コミュニティ施設
 - 防災備蓄品
- ●エコ拠点
 - リサイクルステーション
 - ・刈草、生ごみ堆肥化施設
- ●再エネ拠点
 - 太陽光発電、蓄電施設
 - E V 車急速充電機

広野町役場防災エリア

- ●防災拠点
 - 防災備蓄倉庫
- ●エコ拠点
 - リサイクルステーション
 - 生ごみ堆肥化施設
- ●再エネ拠点
 - 太陽光発電、蓄電施設
 - E V 車急速充電機

ニツ沼総合公園防災エリア

- ●防災拠点
 - 貯水槽
 - ・炊き出し施設
 - ・マンホールトイレ
 - コミュニティ施設
 - ・ヘリポート
 - 防災備蓄品
- エコ拠点
 - リサイクルステーション
 - ・刈草、生ごみ堆肥化施設
- ●再エネ拠点
 - •太陽光発電、蓄電施設
 - E V 車急速充電機

西本 久雄 議員 急ぎ過ぎではないか?

令和6年12月補正ではなく、令和7年度当初でもよかったのではないでしょうか。 急ぎ過ぎだと感じます。

遠藤 環境防災課長 協議の時間を設けるため

基本計画を基に改めて説明し、ご理解をいた だいたうえで実施設計へと進めるための時間を 設けるため、令和6年12月補正で計上しました。

高木 光雄 議員 段階的に進むべきでは?

折木地区林地開発変更協議の県の許可が下り る確信を得てから、次の段階に進むべきではないでしょうか。

遠藤 町長 総意のうえで計上した

12月での予算計上については、全員協議会に おける質疑応答を経て、総意をいただいたと捉 えていました。

一般会計補正予算修正案内容

予算科目 (内容)	補正額 (原案)	補正額 (修正案)
財政調整基金費 (財政調整基金積立金)	-7181万円	-6761万円
防災対策費 (基本計画策定業務委託料)	420万円	0万円
債務負担行為(令和7年度) (防災の駅基本計画策定事業)	1400万円	0万円

遠藤 浩 議員 どこを引き続き精査するのか?

行政側も基本計画をしないと具体的な内容を説明できず、動けません。

構想のどこを引き続き精査すべきだと捉えているの か伺います。

西内 玄太 議員 事前に決められるものがある

構想の段階でやる、やらないを決めることができる ものがあると思います。

明らかに含めるべきではないものについては、再度 構想を見直して、最初から切っておくことで、基本計 画策定業務委託料も減らしていくことができると思い ます。

修正動議



でしっち げんた 西内 玄太 議員

令和6年10月1日の全員協議会において、町が構想する内容について必要性等を疑問視する声が挙がっていましたが、令和6年10月30日の全員協議会においても説明内容はほとんど同様であり、疑問は解消されていません。

費用をかける前に引き続き構想を 精査すべき段階であり、現時点で令 和7年度に1400万円もの金額を債務 負担行為し、その上に前払金を想定 した補正を行ってまで、早急に契約 を締結するべきではないと考えます。

令和6年度12月補正注目事項

森林病害虫等防除事業 委託料

危険木を伐採し、通行者の安全を確保するため、531万円を増額補正。

防犯灯設置工事費

国道6号の中央台橋から社会福祉協議会、こども園を経由して県立ふたば未来学園に向かう通学路において、夜間の視認性を高め、歩行者の安全性向上を図ることを目的として防犯灯10基を増設するため、526万円を増額補正。

高木 光雄 議員 調査をしての金額か?

費用は調査をしての金額なのか、これからの追加分も含めた金額なのか伺います。

黒田産業振興課長 要望等を踏まえて実施

町内全域の調査を行っているものではなく、 各地区の町民の方からの要望等を踏まえて実施 している状況です。



通学路(町道中央台1号線)

各種予防接種委託料

対象年齢で子宮頸がんワクチンの接種を逃した方のための特例のキャッチアップ接種期間が本年度が最終年度となることから、接種希望者が例年より急増し、接種費用に不足が見込まれるため、466万円を増額補正。

農業振興費

町の代表的な特産品である特別栽培米コシヒカリをふるさと納税の返礼品として、本年産米から「とんぼのめがね米」として商品化しており、ふるさと納税の増資を図るためのPR活動を行うための旅費や「とんぼのめがね米」の新パッケージに係る原材料費等、134万円を増額補正。

二ツ沼総合公園施設維持補修工事実施設計委託料

二ツ沼総合公園各施設の維持補修に係る設計業務の現地調査の中で、老朽化による電気設備及び機械設備に補修を要する事案が見つかり、それぞれの工種について修繕をする実施設計を追加するため、266万円増額補正。

観光事業費

第36回巨木を語ろう全国フォーラム福島広野大会に係る環境整備等を図るため、五社山登山道入口、遊歩道入口、展望台、箒平地区公衆用トイレ入口に案内板を設置する費用等、170万円を増額補正。

ラジオ受信障害対策基地局等設置工事

東日本大震災及び原子力災害の影響により、停電状況下における緊急時に、屋内外での情報収集 手段としてラジオの必要性が高まったことから、より一層の防災体制を強化するため、ラジオ受信 障害対応のための基地局等を二本椚、長畑、亀ヶ崎地区の集会所に設置します。

工事名称 広野町ラジオ受信障害対策

基地局等設置工事

工事場所 広野町町内一円

エ 期 議会議決の翌日~令和7年3月31日

請 負 額 6919万円

受注者 株式会社NHKテクノロジーズ

仙台総支社

渡邉 忠義 議員 全域をカバーできるか?

沢になっている地区なども、今回の事業ですべてカバー できるのか伺います。

飯島 総務課長 ほぼ全域で聴取できる

今回の整備によってほぼ町内全域がラジオを聴くことができる環境になります。



広洋台送信所

11月5日 第5回臨時会

令和6年第5回臨時会を11月5日、1日間の会期で開きました。令和6年10月10日付けで衆議院議員総選挙費を増額する一般会計補正予算の専決処分、林専道狼山叶沢線(4工区)開設工事に係る変更契約の締結についてを審議し、全て原案のとおり可決しました。

工事名称 林専道狼山叶沢線(4工区)開設工事

請負額 5676万円(変更前)

5801万円 (変更後)

受 注 者 株式会社 五社山建設

変更内容 土工土量の差異による数量変更

法面工植生面積の差異による数量変更

高木 光雄 議員 工期はいつまでか?

当初の工期と変更内容に係る工期はいつまでなのか伺います。

黒田 産業振興課長 令和6年11月29日まで

当初の工期は令和5年9月14日から令和6年2月29日 で設定していましたが、工期の変更をして令和6年11月 29日までとなっています。



林専道狼山叶沢線(4工区)

令和6年度10月補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1351万円	59億9729万円

主な内容

○衆議院議員総選挙費

1351万円 (新規)

報告します

総務文教

合グランド

動場が併設されており、ニスコート、多目的運ルームで構成され、テ れていることを確認しいずれも適切に管理さ 設備、会議室、ロッカー メインスタンド、照明 施設の状況 トラック、 に設計への反映を検討を推奨し、次の改修時 するとのことでした。

、を推奨し、次の改修時たため、洋式への改修ものの和式のみであっした。 使用頻度は低い メインスタンドのトイ なお、 総合グランド

11月12日 (火) 総務文教常任委員会

- 給食センターの改修について
- 広野駅周辺開発について 所管施設の調査について ・広野町公民館
- - ・広野町総合グランド

総務文教

活用し、20kWの太陽業として国の補助金を とのことでした。 事を行っており、 に当たって支障はない 平成27年度に改修工施設の状況 使用

部でも使用が可能との電力は中央体育館の一置しており、発電した光パネルと蓄電池を設 れていました。 ゼル発電機等も配備さ防災備蓄品やディー ことでした。

を行っているとのこと

食育推進の展示等

 仮囲いをして基礎工事現場事務所が完成し、現在の進捗状況は、 見込みとのことでした。 展示内容を提示できる れており、 委員とする検討委員会 において検討が進めら 栄養士、保健師等を 2月頃には

で、工星重りこ生で、工星重りこ生活を実施しているところ

ているとのことでした。

工程通りに進行し

総務文教

総務文教

の部品開発メーカできた、航空宇宙の部品開発メーカー ある二光製作所が、 けて連 カー 分野 で

で、年度内に社屋工場年3月に完成する工程の採択を受け、令和8用創出企業立地補助金月に自立・帰還支援雇 検討しており、測量等部に医療機関が進出を島広野の隣の土地の一 建設に着手するとのこ 年度内に社屋工場 ハタゴイン福 9 建築する考えであると質としての個別住宅を情としての個別住宅をあるとのことでした。 る住宅メーカー2社が、 会に参画を予定してい生まちづくり推進協議 立ち上げられた地方創 実現を図るため6月に 一部の購入を検討して

とでした。

また、

移住定住の促進などの 住宅地の魅力向上駅東ニュータウン 宅地の魅力向上、

が開始されたとのことト駅舎が完成し、供用11月10日にコンパク新広野駅舎 設を町が取得する方向、整備に向け、敷地や施事、駅西側ロータリーでした。 でJRと協議をしてい



基礎工事が進む新給食センター



完成したコンパクト駅舎

11月13日(水) 産業厚生常任委員会

- 所管施設の調査について
 - ・特別養護老人ホーム花ぶさ苑
 - ・広桜荘



任委員会の活動

産業厚生

行っているとのことで

を行うことをもって高齢者を入居させ、養護 居宅介護が困難な高

ることを目的として設 置され、平成22年4月 に社会福祉法人養高会 が事業運営を開始しま したが、令和2年1月、 で和3年4月以降の花 ぶさ苑の事業継続を断 がも養高会より、 で和3年4月以降の花 要望書が提出されたと のことでした。

を行い、令和3年4月より指定管理者の公募 花ぶさ苑の事業を承継 から社会福祉法人光美 会に管理運営を委託し、 したとのことでした。

い、公設民営の手法に町は資産の譲渡を受

正な取り扱いを図れる要性を十分認識し、適個人情報の性格と重 よう定期的に研修を 個人情報の性格と及びリスク管理 コンプライアンス

るとのことでした。

た支援を検討している とのことでした。

実施しているとのこと1回の火災避難訓練を基づき、有事に備え年

また、

、有事に備え年、消防計画書に

でした。

●入所の状況 震災前は定員の40人 に近い入所者数でした が、震災後は介護職員 の確保ができない状況 となっており、令和6 となっており、令和6 となっており、令和6 とは24人の入所を基本 として、管理運営をお 願いしているとのこと

修を計画的に行っていせて更新し、教育・研に見直し、実態に合わるマニュアルを定期的 した。 対応や介護事故に対すまた、災害発生時の

●施設の状況 養高会から譲渡を受けた後、建物本体の修 にさる特殊浴槽やエアできる特殊浴槽やエアの更新を行ってお とでした。 修を考えているとのこ 及びリスク管理 令和5年4月の職員 不祥事発生に伴い、コ 不祥事発生に伴い、コ 不が事発生に伴い、コ

今年度、光美会において、特定技能外国人を採用する予定となっており、今後も外国人雇用による介護職国人雇用による介護職とのことで、町においとのことで、光美会にお

産業厚生

福祉協議会に管理運営れ、平成10年4月の開設当初から広野町社会の負担の軽減を図るこの負担の軽減を図るこの るとともに、その家族福祉の増進と自立を図寝たきり老人等に対し 在宅の虚弱老人及び設置目的

いるとのことでした。等の徹底に取り組んでにおいて服務規程遵守

積極的な参加、等による外部研究

月のの

コンプライアンス

●施設の状況 令和2年度に座った 治槽の導入、令和5年 とで建物外壁及び防水 できる特殊 がができる特殊 がができる特殊 がができる特殊 がができる特殊 がががない。

福島県社会福祉協議会



広桜荘ホール



特殊浴槽(花ぶさ苑)



渡邉 忠義 ●地域価値を向上させるまちづくりの効果的な推進をする ための取り組みについて

●農業経営基盤強化促進法に基づき、地域の農業をどうし ていくか、地域で話し合った計画を見える化するための 取り組みについて

北郷 伯弘 ●イノシシ被害防止電気柵消耗品交換代金の補助について

P12

P11

浩 遠藤

●町長の海外出張旅費について

●街路灯・防犯灯の設置状況について

P13

●行政職員の就業管理について

●町民へ公募している「町長への手紙」について

●広野町行政機構改革検討委員会について

P14



議員の質問・提言に答える町執行部、その質問・提言をどう町政に反映させてい るのか、対応を追跡しました。

令和6年6月定例会 一般質問 北郷 伯弘 議員

停止線設置の安全対策は可能か

町道大平・舘1号線と町道舘線が交わる 交差点の安全通行対策として、各々に停止 線を設けることは可能か伺います。



指導停止線を設置する

法定外の自主的な停止を促す白色の破線 の指導停止線を設置し、車両の自主的な停 止を促し、安心・安全の確保に取り組みます。





指導停止線 (舘地区)

わたなべ

渡邉

らす」での

町長/前向きに検討する

広野町の地域価値を向られるようになれば、 場所や産物に意味づけ と考えます。 を与えて、 上させることができる 人がストーリーを感じ 波邉…広野町の歴史や 来てくれた

がありますが、認定農 水田のため 系イ 田中 としては厳しいもの田のため、稲作の条中山間地域の傾斜地

緒になって、

す。 業に取り組んでおりま 者と一体となり協働作維持管理に努め、生産 農道や水路の除草等 \mathcal{O}

トーリーがつまってい物、自然の恵みの結晶物、自然の恵みの結晶野町の人々の努力の賜野町のス ます。

は稲作農業だと考えま

を考えるとすれば、私

広野町のストー

1)

1

域の魅力を商品化する高める必要があり、地と同時に、地域価値を 地域資源をより高める と思われます。 ための経済活動が必要 今後のまちづくりは、

います。してはどうか見解を伺 特別栽培コシヒカリと んぼのめがね米を販売 ひろのてらす」で、

議員

ただよし

忠義

とんぼのめがね 米

> 広野町産特別栽培米 コシヒカリ

Tonbo no megane

福島県広野町

ケー けんピカ に ンボルマークであるS マークを使用したパッ お現 長…特別栽培米コシ おいて、お米を販売現在、イオン広野店のごりでである。 町の魅力発信のシ

前向きに検討し取り組広野店での販売導入を販売について、イオン としております。 する際は、 間 事業者

んでいきます。 を介して仕入れること とんぼのめがね米の

TEUMPORT SECRETARIES CONTINUES CONTI EXIMONIAL SCIENCE OF THE STATE さんほのおかれば 多い当かかむ 四部に書き さんだから たんだから

予開眼かけた美味しさを全国の貨標へ

とんぼのめがね米パッケージ

左)表面:シンボルマークSマーク 右)裏面:名称の由来、とんぼのめがね歌詞

による講習会の開催をが必要なため、税理士られ、厳格な財務管理記での記帳が義務付け 講じていただけな 法人にすると複式簿

10 kg

の改善を行おうとする人化の推進、農業経営の法団体は、農業経営の法 農地集積を図らなけれ 区は、83.5hkと決き公表された折木上地 ばなりません。 定され、 化促進法の規定に基づ **波邊**…農業経営基盤強 担い手5名で

/県講習受講を体制

向け

取り組んでおりますのクールにおいて講習に で、講習受講の体制 るアグリビジネスス 就農センターが開催す 会は、福島県農業経営・ 複式簿記などの講習 化

滑化、その他の措置を法人に対する投資の円

講ずるように努めるも

のとするとなってお

を図っています。 携・強化し、支援 り組んでい きます

みちひろ 伯弘 議員

きたごう 北郷

町長/他補助金の活用が可能

北郷 開した生産者へ貸与し 害防止のため町が補助 経過しました。 金を受けて作付けを再 業補助金でイノシシ被 福島県営農再開支援事 た電気牧柵機は11年が 平成25年当時、

被害は大きくなるばか

侵入は放っておくと

支援事業を活用し、貸町長…福島県営農再開

与期間中の破損、故障、

りです。 考えますが、町長の考 害防止対策物貸与の見 再開支援事業の鳥獣被 えを伺います。 ることが必要であると 直しを行い、食を支え このことから、営農

ことを目的として行う 件に、貸与しておりま 再開済の農地に活用す 6割で営農を再開する 費用については、借受 事業であるため、営農 取組について支援する 人が負担することを条 又は滅失により生じた 営農休止した面積の

ることは出来ません。

果実等へも害獣・

害虫

が増加し始まっていて、

最近イノシシの出没

の消耗品の交換等は生

交付で、借りた機械 この事業は1回のみ

産者自らの対応となり

が目立ちます。

電気牧柵機

策事業の消耗品も交付 直接支払交付金制度に おいては、鳥獣被害対 間 地域等

効果的な防護方法につ まいります。 補助・支援の在り方、 が成し遂げられるよう め、農産物の被害削減 用が可能となります。 金の対象となり、 柵の運用に取り組んで イノシシ被害防止電気 柵消耗品の交換等の活 農業の振興を図るた 国・県と協議し 電気



イノシシ被害を受けた水田

えんどう

遠藤

設置しております。

防犯灯は、595基

の目的は

?

とんぼのめがね米等の 教訓の継承

町長/町への理解醸成、

の行程を伺います。 名と講演内容、 遠藤…講演される大学 その後

ジョージ・メイソン大12日にバージニア州のおいてセミナーを開催、 国ワシントンDCにあ日に出発し、11日に米 町長…令和7年2月9 る米国環境法研究所に 学で講演会を開催しま

や未来創造について情 報発信を行います。 大震災からの復興状況 演内容は、 町の特産品 東日本

議員

ひろし 浩

す。 その後の展望を伺いま 学で講演をする目的、 況で、 PR、米国環境法研究 14日に帰国する行程と 所との研究、情報発信 なります。 の展望に取り組みます。 遠藤…歴史的な円安状 13日に米国を出発し、 あえて海外の大

口の増加、招聘者との承、関心を持つ関係人風化の防止、教訓の継底野町への理解醸成、広野町への理解醸成、 りへの提言・助言を得 研究、 新たな時代のまちづく ソーシャルメディア等 町長…参加者等による る機会と捉えています。 交流継続により、

町長/防犯灯を61基設置 設置

設置数を伺います。 街路灯および防犯灯の 取組について、現在の 「町内を明るくしてほ いただきます。 しい」との意見を良く 遠藤…町民の方々から 当課題解決に向けた

8基、町が公園や町道いに設置した街路灯が4基、福島県が県道沿いに設置した街路灯がりに設置した街路灯が 置した街路灯が64基と商工会加盟店付近に設 沿いに設置した街路灯 が229基、 町長…街路灯は、34 なっております。 5基設置しております。 商工会が

置実績を伺います。

Ł, 20 が 基、14 会、 基 防犯灯は、令和元年実績はございません。 おります。 度が9基、 整っている現況にあり 町長…街路灯は整備が 合計61基設置して 令和5年度が7基 、 令和4年度が11基、 令和3年度が 令和2年度

あります。 て設置している状況に 認し、必要性を踏まえ 要望に基づき現況を確 および学校等からのご 防犯灯は、 行政区長 遠藤…過去5年間 の設

ている時間と捉えておされることを保障されめ労働から完全に開放 す。 ります。 口対応について伺いま 遠藤…昼時間の各課窓

対応に当たっておりま る職員が柔軟に連携、 町長…各課内に在籍す

町長/休憩可能な体制を確 立

て伺います。 づく休憩の定義につい 遠藤…条例・規則に基

ついて伺います。 取る環境整備の取組に 遠藤…庁舎内で休憩を

な休憩室はありません。 休憩を取ることが可能 町長…庁舎内で職員が 確立へ取り組んでいき ることが可能な体制の を含め職員が休憩を取 会議室等の利用など

たかぎ みつお 光雄 高木 議員

町長への手紙

どのように処理しているか?

町長/提案者に回答を直接説明

るのか伺います。 どのように処理してい年間何通くらい届いて、 高木…公募開始以来、

町長…平成28年4月か 約20通、これまで述べ 154件寄せられてい

会議等により共有、精 要望等の内容を課長等 寄せられた意見及び

り直接提案者の自宅ま 共に回答書を可能な限

説明する対応

に当たっています。

査・協議し、

担当課と

伺います。 参考になった提言等を 局木…特に行政運営に

路の防犯灯整備等です。 教育の丘における通学 妊治療助成制度の創設、 オ受信体制の確立、不 災マップの策定、ラジ 行動規範の手順書・防 \mathcal{O} は、生活再建支援事業 に参考になった提言等 町長…特に行政運営等 確立、防災・減災の

ました。

ます。 革点と現状組織が大き く変更になる点を伺い 局本…特に重視した改

バーは役場職員、

或い

高木…委員会のメン

副町長/デジタル推進室の設置

たのか、人選基準も含 は外部からも人選され

めて伺います。

考え、町長に伺いを立 課長補佐が相応しいと おり、委員長には副町 て了承をしていただき 今後の町の幹部職員と には行政経験が長く、 構成することとなって 副町長…委員会設置要 して活躍していただく 副委員長には総務 町職員で 委員 課名を企画振興課に変 更すること。 ②復興企画課の復興建 空き家の管理、 空き家の活用は建設課で ③空き家対策について、 設係を建設課に移管し ル推進室を設けること。 として全体計画を策定 き家の除却は環境防災 な調整役としてデジタ するとともに、 X化を俯瞰し、 副町長…①全庁的なD 特定空

課長が充てられ、

ことが出来るという規 外の者の出席を求める まとめられると考えま 定がありますが、外部 とも提言は十分に取り の方の出席を求めなく 同要綱には、委員以 課が所管することです。

考え、DXの推進によ

横断的 町全体 経験から、 ました。 て変化し続けると学び 求められる需要に応じ の時代の団体・法人に 副町長…約 たのか伺います。 どのように牽引してき 験したことを踏まえて、 他自治体の副町長を経

組織とはそ 40年の勤務

綱に基づき、

化に伴う人材確保の課加しており、少子高齢進に伴い町の業務が増 考え、 題が顕在化していると 進め方も改善すべきと けに留まらず、 に伴い各種制度が複雑 住民ニー 組織を見直すだ また地方分権推 ズの多様化 仕事の

合意を図ってまいりま と考え、丁寧に委員の をまとめることが重要 つ、納得の下、提言書 高めることに留意しつ を進めることで士気を 委員の積極的な提案 ○: 賛成 ×: 反対 議: 議長 欠: 欠席 病:病気等 退: 退席 除:除斥 無:無記名投票 ※議長は採決に加わりません。

令和6年12月 第4回定例会

								議		員 名(議席番号			号順	号順)	
		議	出		賛	反	議	1	2	3	4	5	6	7	8
議案等番号	:	決月	席者	者			決結	西本	渡邉	高木	渡邉	西内	北郷	遠藤	門馬
		日日	数		成	対	果	久雄	忠義	光雄	正俊	玄太	伯弘	浩	門馬まりえ
議案	広野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等 に関する条例の一部を改正する条例	12/13	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第67号	令和6年度福島県人事委員会勧告に伴う福 手当の年間支給月数を引き上げる改正をす			義員	に係	る非	期末手	当の	支給	割合	の改	正に	合わ [、]	せ、丿	期末
議案	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部 を改正する条例	12/13	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第68号	令和6年度福島県人事委員会勧告に伴う福 当の年間支給月数を引き上げる改正をする		別耶	哉に	係る	期ラ	卡手当	の支	給割	合の	改正	に合わ	わせ、	期	末手
議案	職員の給与に関する条例の一部を改正する 条例	12/13	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第69号	令和6年度福島県人事委員会勧告に基づく職員の給料月額、期末手当及び勤勉手当の改定に関し、給料月額、 期末手当及び勤勉手当の年間支給月数を引き上げる改正をするもの。														
議案	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関 する条例の一部を改正する条例	12/13	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第70号	令和6年度福島県人事委員会勧告に基づく 給料、期末手当及び勤勉手当の年間支給月								手当刀	及び菫	助勉手	当の)改定	どに関	IL.
議案	工事請負契約の締結について (広野町ラジオ受信障害対策基地局等設置 工事)	12/13	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第71号	本工事(予定価格5000万円以上)の入札落札者と工事請負契約を締結するため、議会の議決を求めるもの。														
議案	令和6年度広野町一般会計補正予算(第6号)	12/13	8	7	4	3	原案 可決	×	0	×	議	×	0	0	0
第72号	歳入歳出それぞれ507万円を増額するもの。主な内容は、防犯交通対策費、予防費、林業振興費、防災対策 費の増額計上のほか、福島県人事委員会勧告に基づく人件費の増額計上。														
	令和6年度広野町一般会計補正予算(第6号)に対する修正案	12/13	8	7	3	4	修正案 否決	0	×	0	議	0	×	×	×
_	令和6年度広野町一般会計補正予算(第6 係る債務負担行為1400万円(令和7年度)						万円、	広野	町防	災の	駅基	本計	画策;	定事	— 業に
議案	令和6年度広野町国民健康保険特別会計補 正予算(第3号)	12/13	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第73号	歳入歳出それぞれ62万円を増額するもの。 件費の増額計上。	主な内	容は	t. 1	賞還	金0	りほか	、福	島県	人事	委員	会勧任	告に	基づ	く人
議案	令和6年度広野町介護保険特別会計補正予 算(第3号)	12/13	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第74号	歳入歳出それぞれ186万円を増額するもの。 づく人件費の増額計上。	主な内	7容(は、	認定	三調 三	查等費	のほ	か、	福島	県人	事委	員会	勧告は	こ基
議案	令和6年度広野町後期高齢者医療特別会計 補正予算(第2号)	12/13	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第75号	歳入歳出それぞれ4万円を増額するもの。	主な内	容は	、後		高齢	者医療	寮広垣	成連合	含納 在	十金の)増額	計上	.0	

○: 賛成 ×: 反対 議: 議長 欠: 欠席 病: 病気等 退: 退席 除: 除斥 無: 無記名投票 ※議長は採決に加わりません。

令和6年12月 第4回定例会

								請	轰	員	名	(議	席番	号順)
		議	出	表	賛	反	議	1	2	3	4	5	6	7	8
議案等番号	件名	決	席	決			決	西本	渡邉	高木	渡邉	西内	北郷	遠藤	門
	H 4	月	者	者			結	本	邉	木	邉	内	郷	藤	門馬ま
		日	数	数	成	対	果	久雄	忠義	光雄	正俊	玄太	伯弘	. //-	りし
								雄	莪	雄	俊	太	54	浩	え
議案	令和6年度広野町下水道事業会計補正予算 (第1号)	12/13	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第76号	歳出30万円を増額するもの。主な内容は、手	三数料0)ほ;	か、着	畐島.	県人	、事委」	員会領	訪告に	こ基で	ゔく丿	、件費	費の増	額計	·£。

令和6年11月 第5回臨時会

								i	轰	員	名	(議	席番	号順)
		議	出	表	賛	反	議	1	2	3	4	5	6	7	8
議案等番号	件名	決月	席者	決者			決結	西本	渡邉	高木	渡邉	西内	北郷	遠藤	門馬まりえ
		日	数	数	成	対	果	久雄	忠義	光雄	正俊	玄太	伯弘	浩	6りえ
議案	専決処分の報告及びその承認について (令和6年度広野町一般会計補正予算(第 5号))	11/15	8	7	7	0	原案承認	0	0	0	議	0	0	0	0
第65号	令和6年10月10日付けで歳入歳出それぞれ1351万円を増額する専決処分をしたものについて、議会の承認を求めるもの。主な内容は、衆議院議員総選挙費の増額計上。												承認		
議案	工事請負契約の変更契約について (林専道狼山叶沢線 (4工区) 開設工事)	11/15	8	7	7	0	原案 可決	0	0	0	議	0	0	0	0
第66号	本工事(予定価格5000万円以上)の請負金 もの。	額の変	更に	こよ	る変	更	契約を	締結	する	ため	、議	会の	議決	を求る	める

林専道狼山叶沢線開設工事現地視察

林専道狼山叶沢線は令和4年度から開設工事に取り組んでおり、当初計画では令和6年度整備完了 を目指していましたが、現地の地形が急峻であること等から設計の見直しが必要となり、整備完了年度 が令和8年度となる予定です。

10月30日に施工中の4工区(全10工区)を現地視察し、担当課から説明を受けて現況を確認しました。



現地視察の様子



法面の状況

議会の議長や、各委員長等から招集通知があり、開催された会議や研修の出欠状況です。

このほかにも、町が主催する式典や小・中学校の発表会、広域圏組合や双葉地方町村議会議長会が主催する会議にも出席しています。

令和6年10月1日~12月31日

○:出席 ×:欠席 △:遅刻、早退 -:員外 弔:弔事 研:研修 公:公務 病:病気等

				1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	開催会議名等	西本久雄	渡邉 忠義	高木光雄	渡邉正	西内玄太	北郷伯	遠藤	門馬まりえ
				雄	義	雄	葰	太	伯弘	浩	え
			出席回数(回)	17	15	16	19	18	17	17	14
			会議回数(回)	17	15	16	19	18	17	17	15
	1	火	全員協議会	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	月	広報委員会	0	-	0	0	0	0	0	_
	9	水	再工ネ施策視察	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	水	広報委員会	0	-	-	-	0	-	-	_
10	24	木	全員協議会	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	金	町村議会議員研修会(県町村議会議長会主催)	0	0	0	0	0	0	0	0
	28	月	葛巻町議会輝くふるさと常任委員会行政視察研修会	0	0	0	0	0	0	0	0
	30	水	全員協議会	0	0	0	0	0	0	0	0
	30	水	林専道狼山叶沢線開設工事現地視察	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	火	令和6年第5回臨時会	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	火	総務文教常任委員会	0	-	-	0	0	-	-	0
11	13	水	産業厚生常任委員会	-	0	0	0	-	0	0	_
11	20	水	町民と議員との意見交換会 (折木地区集会所)	0	0	0	0	0	0	0	0
	21	木	町民と議員との意見交換会(ひろの未来館)	0	0	0	0	0	0	0	0
	22	金	町民と議員との意見交換会 (下北迫地区集会所)	0	0	0	0	0	\circ	0	0
	3	火	議会運営委員会	-	0	ı	0	0	0	0	病
	12	木	令和6年第4回定例会(1日目)	0	0	0	0	0	0	0	0
12	13	金	令和6年第4回定例会(2日目)	0	0	0	0	0	0	0	0
	23	月	双葉地方町村会・双葉地方町村議会議長会合同要望活動	-	ı	ı	0	-	-	-	-
	26	木	広報委員会	0	_	0	0	0	0	0	-

議会の様子を見てみませんか?

次回の定例会は3月です

議場傍聴席入口にある受付票に住所・氏名をご記入いただくだけで、議会を傍聴できます。

また、定例会の録画映像をインターネットでも配信しています。 広野町ホームページまたは、右のQRコードからアクセスでき ますので、ぜひご視聴ください。







した。 第2回町民と議員との意見交換会を開催しま 令和6年11月20日から22日までの3日間

してみて感じたことについて伺いました。 意見交換会に参加いただいた方から、参加



ます。 変良い場であると思い 回答をいただける、大 見交換会」は、議員の 皆様にその場で質問し 「町民と議員との意

いことが残念だと感じ しかし参加者が少な

あれば良いと思います。 に意見を出せる方法が とが、より良いまちづ 加し声をあげていくこ すので、意見交換会に 参加できない方も気軽 くりに繋がると思いま より多くの町民が参



ます。 換ができる機会は少な く、良い試みだと思い とを直接議員と意見交 たこと、思っているこ 生活していて気付い

> が広がっていると感 議会全体で議論の幅

じております。

しかしながら、今

のもあります。 はほしいものです。 田で回答、結果報告が 議員の数以上に増えて には将来を見すえたも それぞれ関係部署経 出された意見、提案 ただ出席者が少なく



貞文さん (下北迫)









開催など、議長の下 が経過いたしました。 員との意見交換会の から、早くも丸一年 昨年は、町民と議 議会議員一般選挙 やすい議会だよりの ただけるよう、読み で参ります。 作成により一層励ん への関心をもってい (西内・玄太)



意見を伺うことで、

ことができました。 た活動にも取り組む でこれまでになかっ

皆様から様々なご

広報委員会 発行・編集責任者 渡辺正俊

に、当議会の活動に ビューで伺ったよう 回のまちかどインタ

改善の必要性や不足

副委員長 委員長 遠藤浩 西本久雄 西内玄太 北郷伯弘

います。

も少なくないとも思 を感じておられる方

次の定例会は3月です

り多くの方々に議会

高木光雄

当委員会では、よ

努めてほしいです。

間潔に分かり易いよう ありますが、もう少し

